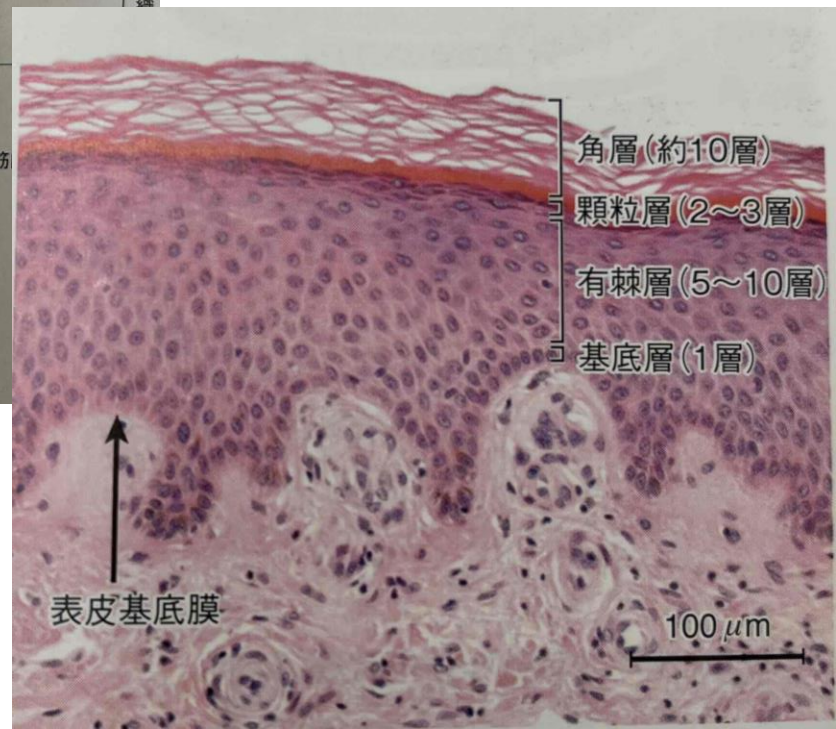
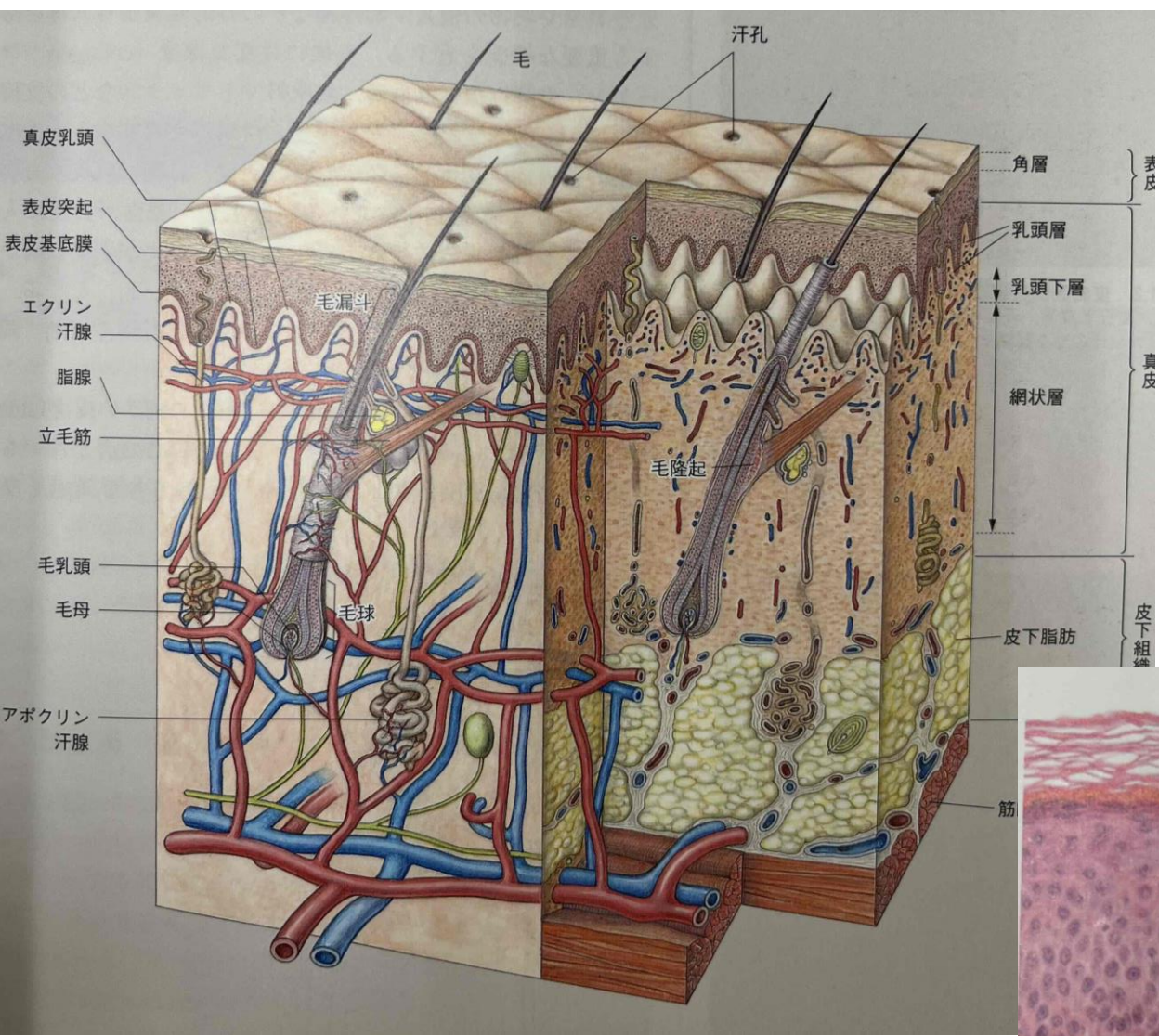


『知って得する健康講座』
身近な皮膚疾患
～帯状疱疹や足白癬など～

海老名メディカルプラザ

齋藤 恭子

2024.3.23



代表的な皮膚疾患の分類(一部抜粋)

- **湿疹**
- 蕁麻疹・痒疹・皮膚掻痒症
- 水疱症・膿疱性疾患
- 角化症
- 色素異常症
- 膠原病
- 皮膚付属器の疾患
- 皮膚良性/悪性腫瘍
- **皮膚感染症**(細菌/真菌/ウイルス性など)

皮膚感染症

細菌感染症→伝染性膿痂疹、丹毒

ウイルス感染症→**帯状疱疹**

真菌症→**白癬**

帯状疱疹とは

- 水痘・帯状疱疹ウイルスによって皮膚の痛みや発疹などが起こる病気
- 水痘（水ぼうそう）は水痘・帯状疱疹ウイルス初感染の症状
- 神経節に潜伏していた水痘・帯状疱疹ウイルスの再活性化による
- 再活性化する原因：免疫機能低下（加齢、疲労、ストレス）

帯状疱疹の症状・合併症

- 症状

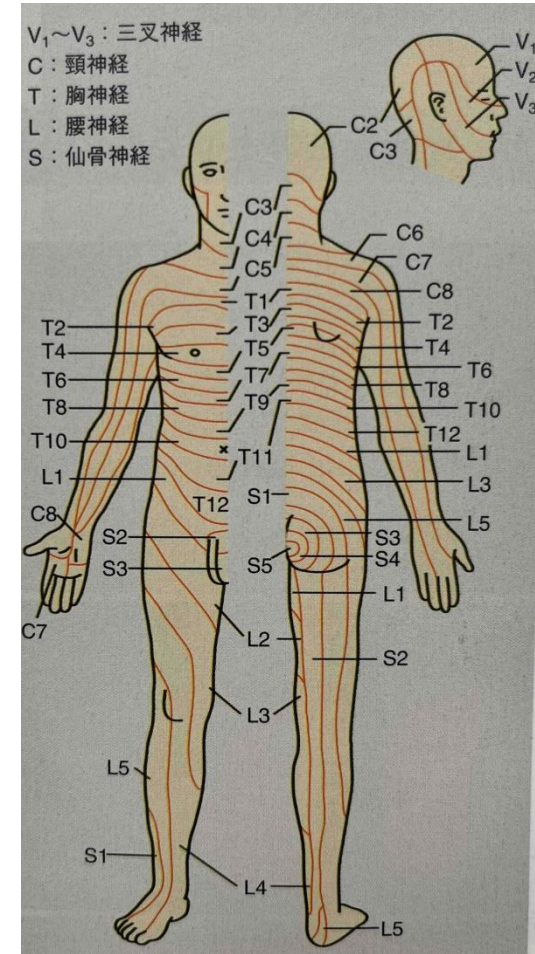
神経支配領域に一致した部位に、
帯状に皮疹を形成。

神経に沿った疼痛を伴うこともある

- 合併症

帯状疱疹後神経痛

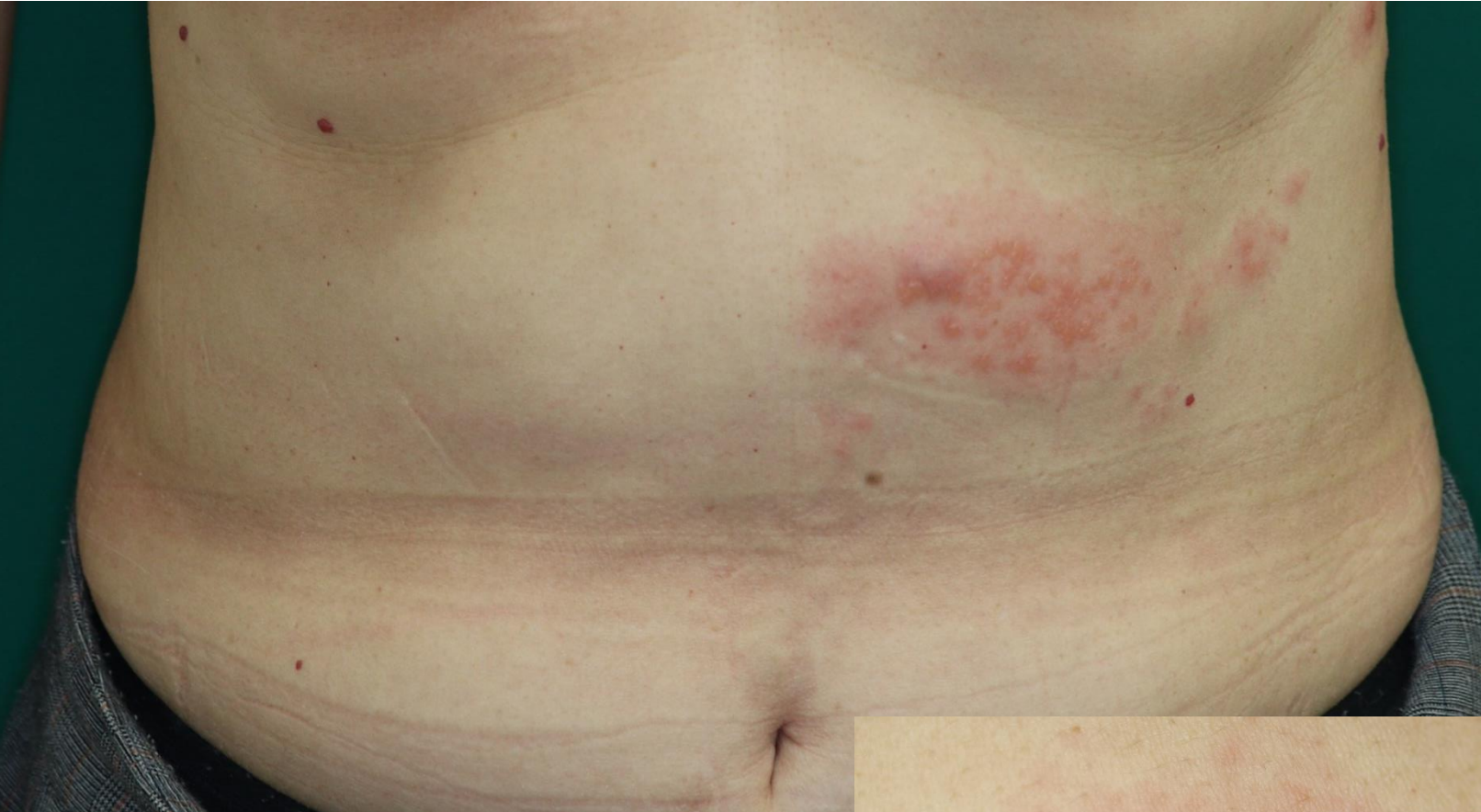
(治癒後も疼痛を残すこともある)



→次のスライドから皮膚症状の写真を提示します















帯状疱疹の予防

- 規則正しい生活習慣
- 適度な運動
- 予防接種

当院では、50歳以上、2回接種する不活化ワクチンの予防接種を行っています

(接種希望の方は1階の窓口へご相談ください)

皮膚感染症

細菌感染症→伝染性膿痂疹、丹毒

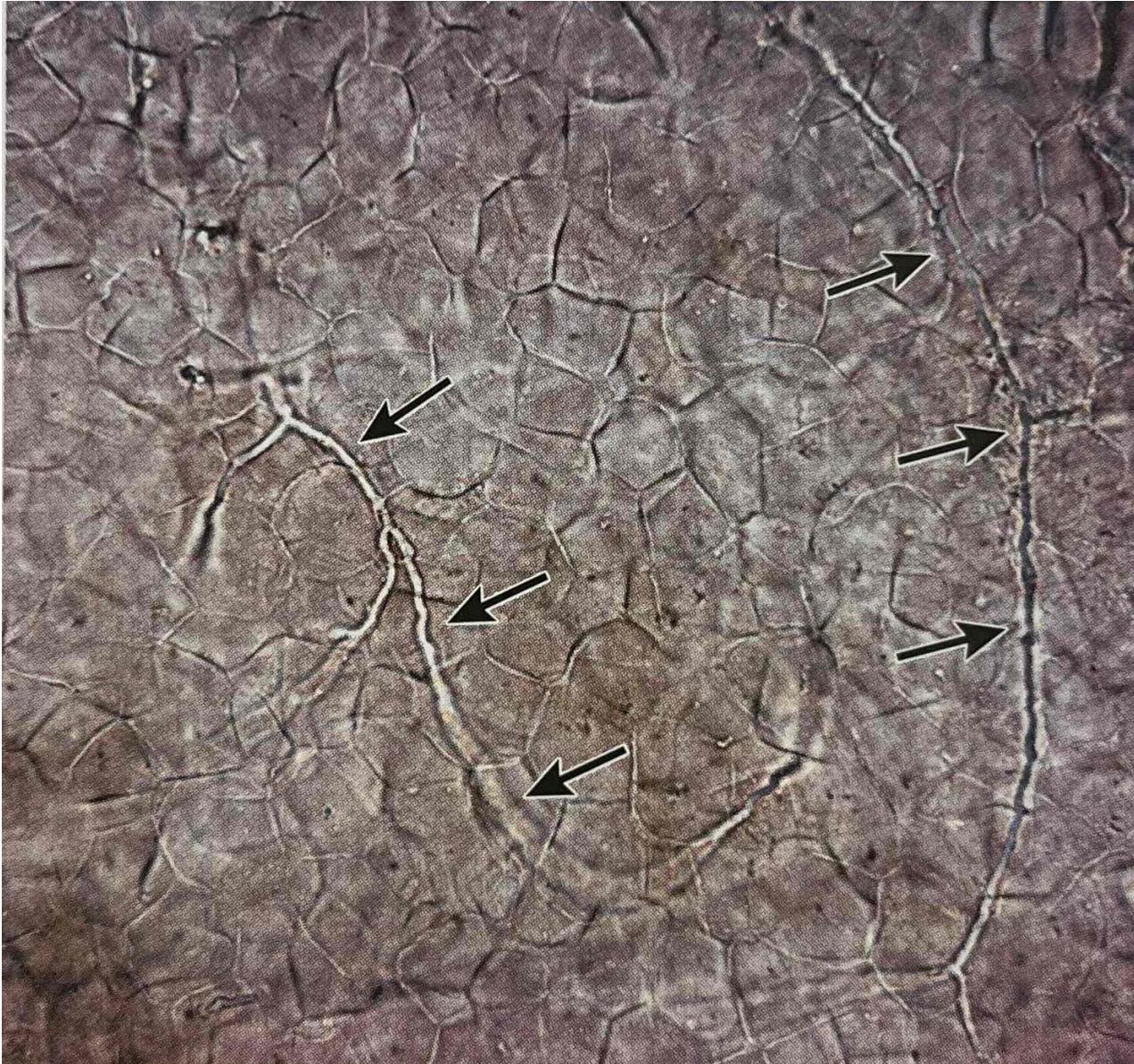
ウイルス感染症→帯状疱疹

真菌症→白癬

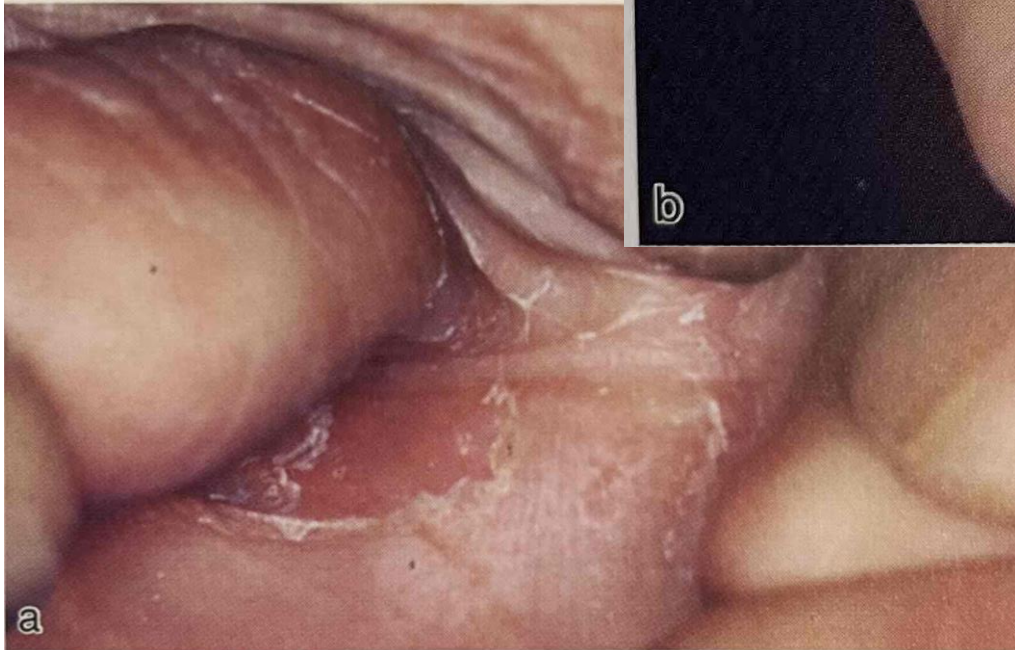
白癬とは

- 皮膚白癬菌が皮膚に寄生して生じる。
(*Trichophyton rubrum*、*T. mentagrophytes*など)
- 寄生部位によって、足白癬、頭部白癬、体部白癬、股部白癬などがある
- 白癬菌はケラチンを栄養源として生息するため、通常は角層、爪、毛包に寄生して病変を生じる

白癬菌



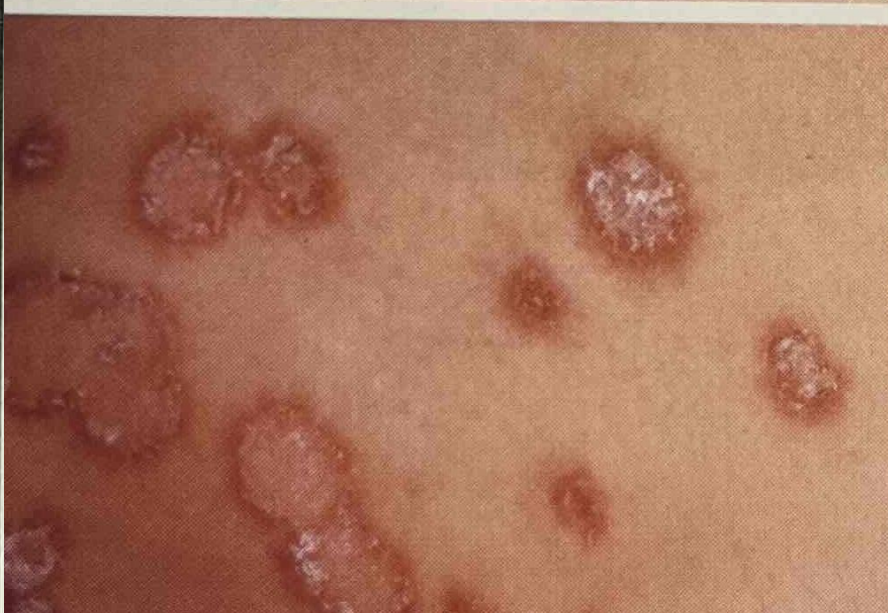
足白癬



足爪白癬



体部白癬



白癬の治療・予防

- 治療：抗真菌薬外用・内服
- 予防：掃除をし、皮膚の清潔を保つ
指の間などの皮膚や靴は通気性良く、
乾燥させる
ご家族に感染者がいる場合は治療を
提案する

湿疹

皮脂欠乏性湿疹

湿疹

- ・原因: 外的因子と内的因子が互いに影響し合って形成される
- ・治療: ステロイド外用剤、かゆみ止めの内服
悪化要因の除去

皮脂欠乏性湿疹

加齢や入浴時の洗いすぎなどを背景に出現する湿疹

→ 次のスライドで皮膚症状の写真を提示します



皮脂欠乏性湿疹

予防：保湿をする

治療：保湿剤外用、ステロイド外用、かゆみ止め内服

★入浴時洗いすぎない

★こすらない

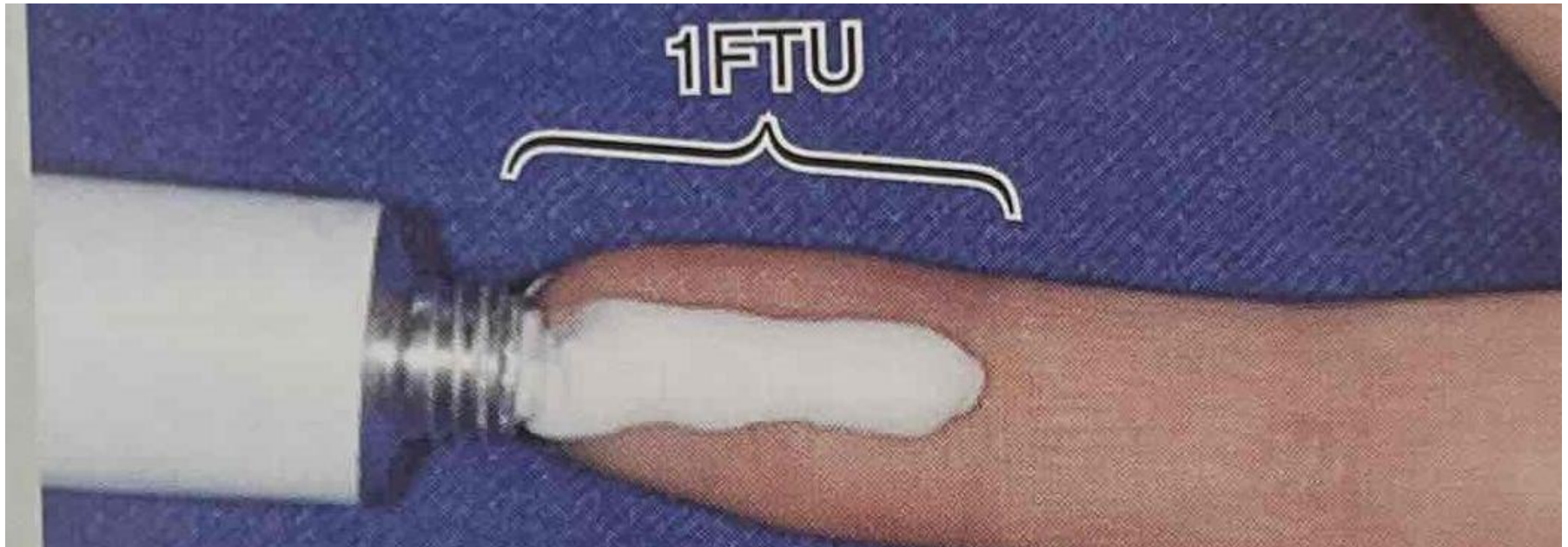
乾燥肌の方は毎年冬季に悪化する傾向がある

ステロイド外用剤について

- 副腎皮質ホルモンの外用剤
- 抗炎症作用があり、強さによって5段階に分類される
- 部位によって、外用できる軟膏の強さがある程度決まっている
- 1日に外用できる回数が決まっている
- 主な副作用：皮膚萎縮、毛細血管拡張、紫斑、酒さ様皮膚炎、ざ瘡、多毛、細菌、真菌、ウイルス感染、接触皮膚炎、副腎機能抑制（強ランクを全身に長期間外用した場合）

ステロイド外用剤について

- 1回の外用量：手のひら2枚分の面積に塗る量は約0.5g (1FUT) (1FUT: finger tip unit 人差し指の第1関節から指尖まで押し出した量)



Take home message

- 帯状疱疹を疑う皮膚症状がある場合は皮膚科受診。顔面、頭部に皮膚症状がある場合は入院加療の可能性もある。
- 白癬が心配な場合は皮膚科受診を検討、顕微鏡で菌の有無の評価が可能
- 皮脂欠乏性湿疹の予防は保湿である。治療はステロイド外用治療である。

ご清聴、ありがとうございました